

HELPMAN JAPAN



これからの介護をつくる人たち。



RECRUIT

絆 × 笑顔

KIZUNA × EGAO



酒井 有希さん (左)

株式会社フレンド
グループホームふれんど榎木 (職員)



田中 ミヤさん (右)

株式会社フレンド
グループホームふれんど榎木 (ご利用者)

「先日ミヤさんのお孫さんの結婚式に出席させてもらい、一緒に東京まで行ったんです!」とうれしそうに語る酒井さん。毎日5回も歯磨きをするほどキレイ好きなミヤさんは、酒井さんがすすめたネイルをきっかけにおしゃれ心に火がついた。「明日はどの服を着ようかしら?」「どんなネイルにする?」とおしゃれの話を交わす時間が酒井さんにとって幸せを感じる時間だと語る。「私、人から助けてもらうことがたくさんあって、自分も何か人の役に立つ仕事がしたいと思い介護の世界に飛び込んだんです」ミヤさんやご家族の感謝の言葉に毎日励まされる酒井さんは、新しいユニフォームをミヤさんにお披露目した。

絆 × 笑顔

KIZUNA × EGAO



浜田 直見さん (右)

社会医療法人至仁会
介護老人保健施設 遊 (職員)



室井 弘さん (左)

社会医療法人至仁会
介護老人保健施設 遊 (ご利用者)

コーヒーとおしゃべりが大好きな室井さんにとって、至福の時間はなんといってもコーヒータイム。お気に入り、施設内の喫茶コーナーで豆からひいた一杯だ。コーヒーのお供は、居室フロア担当で気心の知れた浜田さん。カップ片手に隣り合い、たわいない話で顔をほころばせ合うことはしょっちゅうだ。「室井さんは褒め上手だから、一緒におしゃべりしていると気分がよくなるんです」と明かす浜田さんによると、室井さんはファッションに目がなく、「そのシャツ、いいね!」から会話が弾むことも多いそう。おしゃれな洋服を着ていると「その服、俺にも買ってきてくれよ」とせがまれることもあるのだとか。

絆 × 笑顔



佐原 悠太さん（右） 伊藤 千波さん（左）

株式会社ライフヘルプサービス
グループホーム ゆらり大和（職員）



原 弘子さん（中央）

株式会社ライフヘルプサービス
グループホーム ゆらり大和（ご利用者）

優しく、情に厚い原さん。同施設内の利用者だけでなく、職員の体調にも気を配る。佐原さんが夜勤中に体調不良になったときには、何も言っていないのに「あんた大丈夫？」と気付いてくれた。「あんたが心配で寝られないよ！」と夜中に起きてきてくれたりもしたそう。入社9カ月の千波さんには「がんばればいいね」とほほ笑んだ。「笑顔がいいんです。あの笑顔を見るとがんばろうと思えるんです」と千波さんは語る。3人並ぶと笑顔が絶えない。原さんの笑顔が笑顔と呼びこんでいるのだろう。ゆらり大和には今日も笑顔があふれている。

絆 × 笑顔



御守 美里さん（右）

株式会社アライブメディケア
アライブ世田谷下馬（介護スタッフ）



堤 澄子さん（左）

株式会社アライブメディケア
アライブ世田谷下馬（ご入居者）

「人への感謝の気持ちを忘れないように」と語る澄子さんの楽しみは、週2回の趣味の麻雀大会。「なかなか勝てないのよ」とちょっと照れ笑い。その横で「もともと介護の仕事に興味はなかったんです。でも、たまたま前の飲食業の仕事で高齢者のお客様が多くて、もっと役に立てる仕事がないかとインターンシップに参加していまの職場へ入りました」と御守さん。さて、幼少時代にベールースに花束贈呈をしたこともある、そんな澄子さんのもう一つの趣味はピアノの演奏。時には御守さんと一緒に弾くことも。ピアノの演奏をしながら、「皆さんも身体に気を付けて長生きしなさいよ」と澄子さんは優しくほほ笑んだ。

絆 × 笑顔

KIZUNA × EGAO



大川 祥平さん（左）

社会福祉法人生活クラブ風の村
デイサービスセンター流山（職員）



櫻栄 澄子さん（右）

社会福祉法人生活クラブ風の村
デイサービスセンター流山（ご利用者）

自慢の帽子とジャケットでおしゃれした澄子さんがにこやかに出迎えてくれた。澄子さんに寄り添う大川さんは介護職1年生だ。「デスクワークより、人に寄り添って、人の役に立てる仕事がしたかったんです!」と目を輝かせて語る。「澄子さんはお昼ご飯に洋食が出るとすごく喜ばれるんです」と自分のことのように語る大川さん。「仕事を始めたばかりのときは、なかなかご利用者様と意思疎通ができなくて悩みましたが、6月にみんなでひまわり畑を見に行ったときに、澄子さんとも心が通い合った瞬間があって前向きになりました」と澄子さんの手を握る大川さんは仕事への意欲を笑顔でみせてくれた。

絆 × 笑顔

KIZUNA × EGAO



後呂 文子さん（左）

社会福祉法人京都老人福祉協会
稲荷の家ほっこり（職員）



大橋 敏子さん（右） ご利用者のお嬢ちゃん

社会福祉法人京都老人福祉協会
稲荷の家ほっこり（ご利用者）

「おばあちゃん、見て見てー」。優しく見つめる文子さん、大橋さんは、とびきりの笑顔だ。1階に高齢者、2階にママと子どもたちが集う、「稲荷の家ほっこり」ならではの光景だ。祖母が病気になったことがきっかけで、保育士と介護福祉士の資格を身につけた文子さん。施設を見学して、自分にぴったりだと思った。以前の大橋さんは、訪問介護に行くたびに、触らんといて、ほっといて。しかし、文子さんが「大橋さん」と根気強く笑顔で呼びかけるうち、「おおきに」と返すように。「大橋さんはコーヒー大好きよねー。私と一緒に飲むの、楽しい?」「うん!」。また、とびきりの笑顔だ。

絆 × 笑顔

KIZUNA × EGAO



吉岡 いずみさん（左）

社会福祉法人友愛十字会
特別養護老人ホーム 砧ホーム （職員）



岡村 スエノさん（右）

社会福祉法人友愛十字会
特別養護老人ホーム 砧ホーム （ご利用者）

身内の介護がきっかけで介護の世界に入った吉岡さん。ご利用者様の「ありがとう」が日々の活力だと語る。スエノさんはお祭りが大好き。施設主催のお祭りや、書道の会に参加することをいつも楽しみにしている。「お祭りでいろいろと試食するのが大好きで、特にサイダーがお気に入りなんです」と吉岡さん。「もっとびっくりなのがスエノさん、実はマヨラーなんです。何にでもマヨネーズをかけて召し上がるのが好きで、食事の時間を楽しんでいらっしゃいます」とスエノさんの様子をイキイキと語る吉岡さんに、スエノさんの笑顔が「いつも、ありがとう」と語りかけているようだ。

絆 × 笑顔

KIZUNA × EGAO



田中 幸子さん（左） 小鹿 泰寛さん（右）

社会福祉法人 彩光会
特別養護老人ホーム あけぼの （職員）



吉田 イヨ子さん（中央）

社会福祉法人 彩光会
特別養護老人ホーム あけぼの （ご利用者）

「イヨ子さん、こないだ食堂で昔のアイドルの歌を大声で歌っていましたよね」と田中さんがちやかすと、照れながらも、他にビジュアル系ロックバンドも好きだと明かすイヨ子さん。「こないだのTVの音楽番組も録画したの。みんなにも見せてあげたくて」。お気に入りの曲はICレコーダーに録音して持ち歩いている。レコーダーの収納ケースはイヨ子さんお手製だ。手先が器用で面倒見もいたため、手芸のレクでは積極的に他の利用者を手伝いながら楽しい話で笑わせる。そんなイヨ子さんにこの日たっぷり笑わせてもらったのは、若手職員の小鹿さん。サービス精神あふれたイヨ子さんは、みんなにとってのアイドルなのだ。

絆 × 笑顔



妻木 みなみさん (左)

社会福祉法人かつみ会
特定施設エンゼルの丘 (職員)



村上 誠さん (右)

社会福祉法人かつみ会
特定施設エンゼルの丘 (ご利用者)

自慢の黒いジージャンを出して満面の笑みを見せる誠さん。「もともとデザイナーをしていて、百貨店で婦人服の担当を30年近くやったよ」。「いつもこうやって二人で明日着る服を決めるんです。楽しいですよ」と妻木さんにもっこり。「事務職志望で施設に入って、3カ月間の体験で介護のお手伝いをしていたんです。でもご利用者様と接して介護現場での仕事の魅力にとりつかれちゃいました!」と妻木さんと誠さんは笑顔を交わした。「気に入った服があったら持っていきな」と言う誠さんに、「この服は誠さんが着るから似合うんだよ」と返す妻木さん。誠さんは照れ笑いだ。エンゼルの丘に黒いジージャンの季節がやってきた。

絆 × 笑顔



西前 美希さん (左)

株式会社菱栄ライフサービス
ロイヤルライフ奥沢 (職員)



時久 亀美恵さん (右)

株式会社菱栄ライフサービス
ロイヤルライフ奥沢 (ご利用者)

時久さんはお酒が大好き。「さすが高知生まれの淑女ですね! 昔は車の免許も持っていたらしいですよ」と西前さんが感心する。「昔は海外旅行もたくさん行って、フランス、イタリア、イギリス等々数えきれないくらい」とうれしそうに語る時久さん。「何処が一番よかったですか?」と西前さんが尋ねると、「やっぱり高知が一番!」とにこやかに答えた。「時久さんは、施設のイベントは必ず出席されて、いつも元気で穏やかです。職員に気配りをしてくれて、優しい方なんです。将来私もそんな女性になりたいですね」と語る西前さん。今日もこれから大好きな算数ドリルの解答だ。



絆 × 笑顔

KIZUNA × EGAO

鈴木 英美さん（左）

社会福祉法人若竹大寿会
わかたけの杜 （職員）



佐々木 幸子さん（右）

社会福祉法人若竹大寿会
わかたけの杜 （ご利用者）

佐々木さんは北海道出身。もともと編み物が好きで、着物やテーブルクロスを作るのが得意。息子さんがいる神奈川県に引っ越してからは、昔作った編み物を出してきて、訪問介護ヘルパーで毎日会う鈴木さんと楽しくおしゃべり。「すごい！ このレースの編み物って何カ月かけて作ったの？」「これなら、1週間もかからないわよ」「えー、今度やり方教えて！」二人のおしゃべりは尽きることがない。いまでは佐々木さんと話がしたいと、多くの人が佐々木さんの部屋に大集合。鈴木さんもその一人。部屋でのお茶会でも編み物のことはよく話題に上がる。「編み物のことなら私に任せて」



絆 × 笑顔

KIZUNA × EGAO

蛸名 蒼さん（中央）

株式会社ベストライフ
ベストライフ相模原 （職員）



山下 澄子さん（右） 岩倉 京子さん（左）

株式会社ベストライフ
ベストライフ相模原 （ご入居者）

澄子さんと京子さんは大の仲良し。二人が揃うと大いに会話が盛り上がる。そんな二人にとって蛸名さんは「かわいい孫のようだね！」と笑顔がこぼれる。「私、おばあちゃん子で昔からお年寄りの力になりたいと思っていました。学生のときは吹奏楽を介護施設で演奏するのが楽しみで、もっと何かお年寄りの力になりたいと、介護の仕事を選びました」と笑顔で蛸名さんは語った。澄子さんと京子さんは何をするのも二人が楽しい。カラオケは京子さんが歌って澄子さんが聴き役。「毎日お二人から元気もらっています。毎日が楽しいです」と3人の笑い声が響き合う。

絆 × 笑顔

KIZUNA × EGAO



大津 絢美さん (左後方) 森 亮太さん (右後方)

社会福祉法人新生寿会
高齢者保健福祉施設 ありすの杜 きのご南麻布 (職員)



赤井 富美子さん (左) 大岩 ツルさん (右)

社会福祉法人新生寿会
高齢者保健福祉施設 ありすの杜 きのご南麻布 (ご利用者)

この仕事に就く前、「認知症の人とは意思疎通ができないと決めつけていた」と打ち明ける亮太さんは、目を合わせてゆっくり話せば伝わるということを、ツルさんから学んだ。「ツルさんは、プラス思考の言葉が多い“愛されキャラ”。だから落ち込んだときには、逆に元気をもらっています」と亮太さん。野球観戦が共に好きだという絢美さんと富美子さん。「一緒に球場に行って、ビールを飲みながら盛り上がります」と笑う。一緒にいると安心できるから「富美子さんの体調が悪いと悲しくなります」と絢美さん。富美子さんは言葉で伝えることはできないが、「いつでも一緒に家族みたい」と言う絢美さんには、心の言葉は届いている。

絆 × 笑顔

KIZUNA × EGAO



原田 宏貴さん (左)

株式会社ニチケアパレス
ニチイホーム朝霞 (職員)



森田 高子さん (右)

株式会社ニチケアパレス
ニチイホーム朝霞 (ご利用者)

高子さんは現役の華道・茶道の先生であり、師範名は高山松汀。「先生にはお弟子さんがたくさんいらして、いまも定期的に自宅に教えていらっしゃる、充実した日々を送られています」。原田さんも高子さんを先生と呼ぶ。「私は人とコミュニケーションをとる、人を助ける仕事に関わりたくて介護の世界に入りましたが先生のような方に教わることの方が多くですけど」と語る原田さん。「施設に華道を教える先生が来た際、森田さんが代わって教えることもあるくらいですよ」と自分のことのようにうれしそうだ。「私は華道・茶道を通して人との交流を一番大事にしているのよ!」とあふれんばかりの笑顔で語る高子さんはまさしく松汀先生だ。



絆 × 笑顔

瀧山 美咲さん（左） 岩田 茜さん（右）

社会福祉法人東の会
特別養護老人ホーム みたけ （職員）



有園 ミツ子さん（中央）

社会福祉法人東の会
特別養護老人ホーム みたけ （ご利用者）

「バナナが大好き!」。そんなミツ子さんのために、毎年、バナナグッズの誕生日プレゼントを選んでいるのが瀧山さんだ。入居から3年、抱き枕やアイロンプリントしたTシャツなどでミツ子さんを喜ばせてきた。食事が難しくなったときは、使いやすい食器やスプーンを探し、食べやすくする工夫も続けた。「自分で食べてもらえたとき、本当にうれしかったです」と瀧山さんがほほ笑めば、ミツ子さんも「私、この人、大好きなの」とにっこり。二人を間近に見てきた後輩の岩田さんは、ミツ子さんの一番のお気に入りバナナ柄の帽子なのだと話す。「目にするたびにうれしそうに指差すんです。二人みたいに深い絆を作っていきたいですね」



絆 × 笑顔

小池 信さん（左）

社会福祉法人若竹大寿会
わかたけ青葉 （職員）



岩佐 慶子さん（右）

社会福祉法人若竹大寿会
わかたけ青葉 （ご利用者）

施設に入る前はイチゴを育てる農家だった岩佐さん。いまでも植物を育てることが大好き。そんな岩佐さん pensando、ご家族が持ってきてくださるのも花や植物が多い。もらった花や植物をベランダで育てている。植物に詳しくない小池さんは、時には水のやり方などを教えてもらうこともあるそう。花を眺めている岩佐さんの姿を見ると、「お花に水をあげましょうか?」と声を掛け、二人で水やり。「花はやっぱり和むね。明日も水やりをお願いね」「また、一緒に水をあげましょうね!」

絆 × 笑顔

KIZUNA × EGAO



津村 佳宏さん (右)

株式会社東急イーライフデザイン
ライフニクス高井戸 (スタッフ)



遠藤 美都子さん (左)

株式会社東急イーライフデザイン
ライフニクス高井戸 (ご入居者)

遠藤さんは住宅内の人気者。すれ違えば、スタッフでも他のご入居者でも皆が手を振り声を掛ける。愛らしい笑顔で手を振る姿は、年齢をまったく感じさせない。津村さんはそんな遠藤さんの笑顔に励まされるひとり。「当初はご自身の話をよくしてくれましたが、最近は『今日は泊まりなの?』『奥さんやお子さんはどうしているの?』と私のことを気にかけてくださいます。遠藤様のお部屋に来るとホッとするんです。ありがたい存在です」津村さんはそう語る。一方の遠藤さんも、「安心しますよ。ホッとするの」。津村さんが耳元で声を掛けると、うれしそうに笑う遠藤さん。どうやらこの二人は相思相愛のようだ。

絆 × 笑顔

KIZUNA × EGAO



高橋 良仁さん (左) 住川 愛さん (右)

HITOWAケアサービス株式会社
イリーゼ八王子 (ホーム長) / (介護スタッフ)



荒木 壽美子さん (中央)

HITOWAケアサービス株式会社
イリーゼ八王子 (ご利用者)

「おい息子、ちゃんと仕事しているか!」と元よく壽美子さんに声を掛けられたホーム長の高橋さん。「壽美子さんは職員に対しても家族と同じように接してくれ、私たちが励まされちゃうんですよ」と照れ笑いで語る。介護スタッフの住川さんは、「私は母も介護の仕事をしていたのと、おじいちゃん、おばあちゃん子だったので、この仕事にすんなり入ることができました」とにこやかに語る。「壽美子さんは園芸や料理のレクが大好きで、この間のアイスクリームづくりも積極的に参加してくださり、楽しそうでした」とうれしそうに話す住川さんと壽美子さんは実の孫とおばあちゃんのような。木漏れ日の中、3人の笑顔が絶えることはない。

特集 ～これからの高齢社会を支えるICT・ロボットに注目！～

「介護」×「ICT」「ロボット」 22

介護の可能性を最大限に
介護の未来はもっと進化する

●オリックス・リビング株式会社 ●パナソニック株式会社 ●社会福祉法人 善光会
●トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社 ●ヤマハ発動機株式会社

どう変わる？日本の未来。 44

INTERVIEW ～「介護」といってもいろいろある！業態別介護のお仕事～

みつけよう！自分に合った介護のお仕事 46

～いろいろな介護のお仕事をのぞいてみよう～

特別養護老人ホーム	社会福祉法人中川徳生会
有料老人ホーム	グリーンライフ東日本株式会社
デイサービス	株式会社ユニマット リタイアメント・コミュニティ
訪問介護	株式会社ソラスト
グループホーム	メディカル・ケア・サービス株式会社

Q&A 気になるギモンを解消。介護のお仕事って実際どうなの？ 58

介護業界で働くには？カンタン解説編 介護の仕事の探し方 62



氏家 愛菜さん (右)

社会福祉法人吉祥会
寒川ホーム (職員)

梶原 よね子さん (左)

社会福祉法人吉祥会
寒川ホーム (ご利用者)

施設に入居する前は町の文房具屋さんだった梶原さん。いまでも施設で駄菓子屋や物販のイベントがあるときにはイキイキとした姿を見せる。そんな梶原さんと氏家さんとの出会いは、氏家さんがまだ学生のアルバイトをしていたころ。氏家さんが介護の仕事で初めて関わったのが梶原さんだった。アルバイトを通して介護の仕事の楽しさに気付いた氏家さん。そのまま寒川ホームに入社して早2年。すっかり一人前になった氏家さんは、当時を思い返しながら、よく梶原さんと一緒にお散歩をするそう。今日は、湘南の海まで一緒にお散歩。

01 ORIX Living Corporation オリックス・リビング株式会社

壁収納型介護リフトや見守りシステムを共同開発
省力化を図り、本来のサービスを手厚く

Panasonic Corporation パナソニック株式会社 02

10年に及ぶ開発から誕生した「リショーン Plus」
ベッドと車いすの一体化で移乗介助を不要に

03 Social Welfare Corporation Zenkokuai 社会福祉法人 善光会

「介護ロボット・人工知能研究室」も設立！
人の手とロボットを融合した、新たな介護へ

Triple W トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社 04

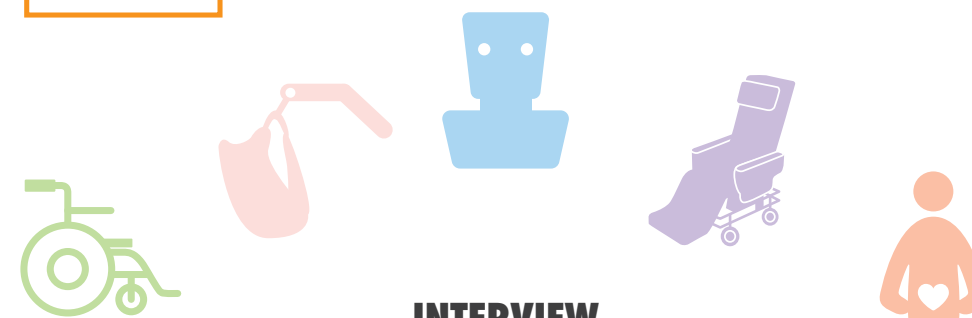
介護時間は3割削減、おむつ代は半分に
世界初！ 排泄予知デバイスが介護を変えた！

05 Yamaha Motor Co., Ltd. ヤマハ発動機株式会社

車いすを人に近づけて、生活をアシスト
ヤマハ発動機が生んだ、電動車いす

これからの高齢社会を支えるICT・ロボットに注目！

特集



INTERVIEW

「介護」×「ICT」
「ロボット」

介護の可能性を最大限に
介護の未来はもっと進化する





施設に一般的な設備を設置していましたが、2013年に「オリックス・リビング イノベーションセンター」を設立し、各社と居室見守りシステムや壁収納型介護リフトなどを共同開発してきました。これらの導入により、介護スタッフの大幅な省力化と、ゲスト（入居者）の安全・安心や快適性を向上。それとともに、介護支援システム製品やインカムシステムも導入、施設全体の業務効率化を実現しています。今回は、2016年6月にオープンした「グッドタイムリビング 流山 武番館」に導入したこれらの最新設備について、順番にご紹介します。

まず、インカムについて。PHSからリプレイスしたものです。例えばケアコールが鳴ったとき、従来は1対1の通話しかできないPHSで一人ひとりに連絡し、対応できるスタッフを探していました。1対多で通話できるインカムに切り替えてからは、一斉に連絡できるようになり、対応できるスタッフを即座に決めることができるようになりました。これにより手間を大幅に削減できました。

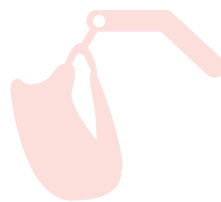
**インカムを導入し
全スタッフに一斉連絡
対応者を即座に選出**



次に、介護支援システムについて。「Care-wing」という製品を導入し、従来、エクセルに入力し紙に印刷して共有していた稼働表作成・運用業務を効率化させました。稼働表とは、各ゲストの1日のケアの予定と実績を記録するものですが、ゲストから入浴や食事などの急なキャンセルが入ると、スタッフが手作業で修正し全

**介護支援システムで
稼働表作成・
運用業務を効率化**

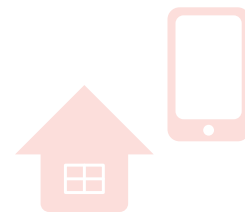
スタッフに配り直していました。特に規模の大きな施設では、これが大きな手間となっていたのです。「Care-wing」の導入によって、居室に入出入りする際にQRコードを読み取ることで、いつ誰が何のケアをしたかを簡単に記録でき、変更が入っても簡単操作で修正し、全員と共有できるようになりました。プリントアウトしコピーする必要もなくなり、ペーパーレス化にも役立っています。なお、記録データはそのまま介護保険給付請求に使うことができ、経理業務の効率化も図れています。



01

オリックス・リビング株式会社

ORIX Living Corporation



**壁収納型介護リフトや見守りシステムを共同開発
省力化を図り、本来のサービスを手厚く**

INTERVIEW

オリックス・リビング株式会社
グッドタイムリビング 流山 武番館 ケアアテンドマネージャー
熊澤 遥さん

淑徳大学社会福祉学部社会福祉学科課程修了。2009年4月にオリックス・リビング株式会社へ入社し、グッドタイムリビング 流山 武番館のケアアテンドとして配属。その後、ケアリーダー、ケア主任を経て、2016年11月より現職。2013年の業務タブレット導入時には「タブレットチーム」の一員として実証に参加し、ケア現場のタブレットの導入・浸透に尽力。



**オリックス・リビング
イノベーションセンターを
設立し先進機器を共同開発**

オリックス・リビングは、関東圏と関西圏に合わせて住宅型有料老人ホーム24施設、介護付き有料老人ホーム5施設を運営しています。当初は各

「壁収納型介護リフト」で
ゲストの安心感醸成と
スタッフの腰痛を低減

「グッドタイムリビング 流山 武蔵館」には、日々の生活に不安のあるゲストのための「スペシャルケアフロア」があり、そのベッドの頭上部分には「壁収納型リフト」を取り付けています。ゲストがベッドに寝たまゝの状態です。シートに包み込んでリフトアップし、360度回転できる多関節自在アームによってリフトアップ状態のまま室内を回転。洗面台やトイレに楽に移動させることができます。介護リフトメーカーの株式会社モリトールと当社が共同開発しました。

そもそもこの開発には介護スタッフの負担の低減という目的がありました。当初は社内にも「ゲストを吊り上げるなんて」という抵抗感もあり



ました。しかし、調べてみるとスタッフの移乗技術には個人差があり、力のない小柄な女性が多いこともあって、ゲストの側にも不安や不満を感じる場合があることが判明したのです。導入してみると、リフトに包み込まれ、機械による安定した移乗によって、ゲストに安心感が生まれることが分かってきました。そのときに私たちは、「必ずしも人の手で行うことが最善とは限らない」ことに気付かされたのです。そして、スタッフの腰痛が激減するという大きな効用も得ることができました。

なお、リフトは居室だけでなく、浴室にも天井レールタイプを設置しています。

「居室見守りシステム」で
ゲストの転倒防止と
スタッフの省力化

最後に、「居室見守りシステム」についてです。「Neos+Care」という製品で、介護機器メーカーのノーリツプレジジョン株式会社と共同開発を行いました。これは、「スペシャルケアフロア」のベッドを見下ろす高い位置にセンサーユニットを設置し、ゲストの動作を検知すると撮影動画を配信してスタッフが効率的に必要な行動をとれるようにするというもの。転



浴室には、天井レールタイプのリフトを設置。ゲストを脱衣の上リフトに移乗させて浴槽まで搬送し、そのまま浴槽に降ろして入浴させることができる。介護スタッフに大きな負荷がかかる入浴介助が、大幅に軽減された



倒事故が一番多く起こっているのがプライバシー空間の居室内であることに着目し、そこから優先的に導入しました。まず、ゲストの動作は①起き上がり、②端坐位、③立ち上がり、④離床、⑤ずり落ちの5段階が設定可能で、例えば問題なく起き上がれるものの、立ち上がりには不安があるというゲストの場合、②の段階から発報するように設定できます。発報と同時に、ゲストのプライバシーに配慮したシルエット画像を配信。赤外線を用いた距離センサーによる3次元の立体形状の認識を行うため、人の行動を正確に判断することができます。端坐位となってもその後また横になることも考えられますので、画像で経過を確認し、横になる気配があれば居室に向かわなくても済みます。これで、転倒防止とともにスタッフの省力化も図ることができるようになりました。



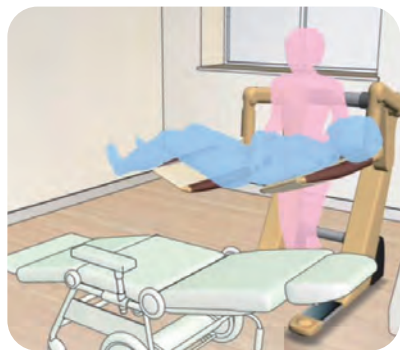
まで人前では一人ではできないと思われていた行動が、自分一人でもできることが判明するといった効用もありました。

介護スタッフが本来
取り組むべき
サービスに一層の力を

以上のように、スタッフの省力化や効率化を実現させることで、今後当社では本来介護スタッフが取り組むべき「人の手によるケア」に一層注力していきたいと考えています。このほど、「ゲストにとって最良のケア」「毎日がワクワクする賑わい」「一緒に叶える夢」という3つのビジョンを掲げ直しましたが、今後も「最良のケア」を行うために、ICTやロボットを活用してまいります。



オリックス・リビングが介護用品メーカーと共同開発した壁収納型介護リフト。介護スタッフ1名で楽に装着でき、いつでもすぐに使うことができる。360度の多関節自在アームにより、ベッドから洗面台、トイレに素早く移動可能。トイレ介助も楽々に



にも重い負荷がかかるだけでなく、介助される高齢者にとっても転倒、転落、打ち身、皮膚剥離などのリスクがあります。河上さんは、この移乗介助の負担とリスクの軽減を目指し、2006年にロボット開発に取りかかりました。

最初に開発したのは、人が行う抱き上げ移乗に倣った動きをする「トランスファアシストロボット」です。

「しかし、このロボットは、抱き上げたときの転落のリスク、居室に持ち込むには大きいという問題、機械が苦手な人には親しみにくいという3つの課題がありました」と、河上さんはいいます。

そこでこの3つの課題をクリアするため、河上さんはロボットを基本構造から見直しました。そして生まれたのが、「ベッドと車いすを一体化する」というアイデアです。

自立支援ロボットは、人がする作業そのまゝを機械が代わりにするのはなく、人がする作業を翻訳して、機械でしかできない方法で行うという、これまでとは異なる発想から生まれました。

「しかも、それによって安全性が高まるのです。それでこそ、機械を使う価値が生じると考えました」

この新しいコンセプトで作られたのが、介助なしに自分で離床できる「全自動型」の自立支援ロボット「リショーン」です。

次に開発した全自動型自立支援ロボットは福祉先進国が注目



自立支援ロボットは、人がする作業そのまゝを機械が代わりにするのはなく、人がする作業を翻訳して、機械でしかできない方法で行うという、これまでとは異なる発想から生まれました。

「しかも、それによって安全性が高まるのです。それでこそ、機械を使う価値が生じると考えました」

この新しいコンセプトで作られたのが、介助なしに自分で離床できる「全自動型」の自立支援ロボット「リショーン」です。

介護職にとつての「非常識」を納得させる挑戦

「全自動型」から「介助型」へと転換し、コンセプトも「介助者一人だけで、簡単・安全・スムーズに移乗介助できる」としたのです。

ただ、背中の真ん中でマットレスが2分割される仕様もまた、介護職にとっては「あり得ない」デザインでした。褥瘡リスクを高めると考えられたからです。

「ここがわれわれにとってはチャレンジングな部分でした。褥瘡の専門家にアドバイスを受けながら、分割を感じさせない滑らかなマットレスの開発を進めました」

そして、体圧分散性も、市販の体圧分散ウレタンマットレスと遜色ないレベルを実現することができました。後に離床アシストロボット「リショーン」となる、プロトタイプが完成したのです。



02

パナソニック株式会社
Panasonic Corporation



10年に及ぶ開発から誕生した「リショーン Plus」ベッドと車いすの一体化で移乗介助を不要に

INTERVIEW

パナソニック株式会社
エコソリューションズ社 エイジフリービジネスユニット
ロボット・リハビリ事業開発部 部長

河上 日出生さん

2006年に松下電器産業（当時）に中途入社し、介護ロボット開発担当として移乗支援をテーマとした次世代介護ロボット開発に携わる。10年をかけて「リショーン Plus」を開発。開発過程では、粘り強くスクラップ・アンド・ビルドを繰り返し、デンマークに赴いて2週間に及ぶプロトタイプの実証実験を行った。介護ロボット開発のスペシャリストである。



当初開発したのは人の抱き上げ移乗に倣ったロボット

介護現場で負担の大きい介助のひとつとして挙げられるのは、ベッドから車いすなどへの移乗介助です。これは介護職にとって、身体的にも心理的

自社施設で実証実験し 抽出した課題から 改善を重ねていく

それからは、自社施設などにプロトタイプを持ち込んでの実証実験です。実証実験では、「危なくて一人では操作できない」という厳しい指摘も受けました。

「背もたれをガススプリングで上下させていたため、操作者は利用者の背中側に立つことになりました。これでは、利用者がずり落ちたとき、一人では対応できないと言われたんです」

一人で安全に操作できるよう、背もたれはリモコン操作に変更。実証実験でのさまざまな指摘をもとに、河上さんたちは商品の改善を重ねました。そして、2014年6月、ついに離床アシストロボット「リシヨーン」を世に



送り出したのです。

「リシヨーン」は複数の国家プロジェクトに参画し、有効性や課題の検証を行えたことが開発にも役立ちました。また、安全規格であるISO 13482（※1）の認証の世界初の取得も大きなメリットとなっています」

（※1）2014年に発行されたパーソナルケアロボット（生活支援ロボット）の安全性に関する国際規格

「リシヨーン」使用で 利用者の能力が 引き出された事例も

「リシヨーン」は100台限定で製造・販売。導入施設では、3カ月間データを取りました。中には、離床が週2回の入浴時だけだった利用者が、毎日、離床して食事を摂取。表情が豊かになった上、体調もよくなったという報告もありました。

「『リシヨーン』の使用により、人との交流や受ける刺激が格段に増えたんですね。結果、その方の持っていた能力が引き出されたのだと思います」と河上さん。

集計したデータから、「リシヨーン」の使用で介護職の身体的負担は8割、心理的負担は7割が改善。移乗介助の人員も2〜3人から1〜5人に低減できたことが明らかになりました。



リモコン操作で簡単に分離できる「リシヨーンPlus」は、ベッドから車いすへの移乗介助自体をなくし、介護する人の負担を大幅に軽減した。また、利用者を気軽に離床させることができることから、離床時間を増やし、利用者の日常生活も大きく変えることができる

省力化以上に 人の幸せに貢献できる ロボットの開発を

そして、2017年1月、次世代機「リシヨーンPlus」を発売。定価90万円、実勢価格70万〜80万円。実勢価格130万円だった第1世代「リシヨーン」の半額に近づけました。初年度の販売目標は350台から500台。2017年9月末現在での累計販売台数は200台を超え、好調です。2017年2月からは、介護保険レンタルにも対応。1割負担なら3800円で利用できるため（※2）、徐々にレンタル利用も増えています。

介護ロボットは、介護職の負担軽減策のひとつとして、今注目を集めている



ます。しかし、河上さんはロボットを開発する際、それよりもっと大切にしていることがあると語ります。

「みんなと一緒に食事をとれること。自力でトイレに行けること。そうしたことは、その方の生活の張り合いや幸せにつながるのではないかと考えています。そしてロボットは、それを手伝えるためにあるのではないかと思うのです」

次は、座れる人や立てる人を対象にしたロボットを構想中という河上さん。利用する人を幸せにしてくれる、新たなロボットの誕生が期待されます。

（※2）このレンタル料は、パナソニックエイジフリー株の場合。レンタル料は、福祉用具のレンタル事業所により異なる



次世代機「リシヨーンPlus」。それまで右側だけの配置だった車いす部分が、納入時に左右どちらか選べるようになった。3層から成る体圧分散ウレタンマットレスは、分割部分の滑らかさに配慮。体圧がかかることで分割部分がびったりとくっつき、段差は生じない



シヨンの模範となる」という理念を標榜。ICTやロボットの導入は、その一環として積極的に取り組むべきものという位置付けにあります。

皮切りとして、2009年にサイバーデザイン株式会社と提携し、介護福祉施設で最も早く介護ロボットスーツ「HAL®」を導入。何か新しいソリューションはないかと探していたところ、当法人の利用者さまが「HAL®」の紹介記事を見つけて教えてくれたことがきっかけとなりました。

その後、そうした姿勢を知った介護機器メーカーなどから、共同開発などのオファーが続々と入り始めたことを機に、2013年に「介護ロボット研究室」を立ち上げました。テクノロジ分野を組織横断的に一括管理するとともに、取り組みを加速させることが目的です。

研究室では、以前から独自に介護システムを開発しようと採用していた社内SEだけでなく、現場の介護職員や私も参加し、より実効性のある活動を目指していきました。最初に取り組んだのが、独自開発した腰痛予防体操をするコミュニケーションロボットを、自分たちの手で作ること。ロボットの仕組みを学ぶだけでなく、実用化も目指しました。秋葉原にパーツを買いに行き、プロジェクトメンバーがーから組み立てて完成。この取り組みで、ロボットに対するメンバーのリテ

腰痛予防体操をする コミュニケーション ロボットを自ら開発

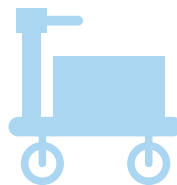


腰痛は介護職員の「職業病」的なところがありますが、一方で腰痛の度合いはスキルの差に比例するのではないかという議論もありました。特に力のある男性職員は、力任せに移乗させてしまう場合がよくあります。そ

「Kinect」を活用し 「移乗トレーニング プログラム」を開発

ラシーは結構高まったと思います。このロボットの開発経験をもとに、現在コミュニケーションロボットを新たに開発中です。

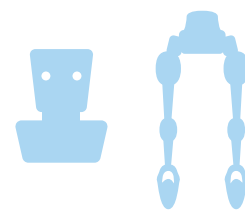
なときにマイクロソフト社からセンサーによって体の動きを骨組みから認識できる「Kinect」というデバイスがリリースされました。早速これを導入し、ベテラン女性介護職員の移乗介助の動きを分析して「移乗トレーニングプログラム」を開発しました。介護職員は、自分の移乗介助を撮影し入力することで問題のある動作を即座に可視化でき、これをもとに適切な動作の練習が可能となります。職員からは「客観的に見られるので非常に分かりやすい」と好評です。これだけの効果は測定困難ですが、腰痛を訴えたりヘルニアになる職員はかな



03

社会福祉法人 善光会

Social Welfare Corporation Zenkoku



「介護ロボット・人工知能研究室」も設立！ 人の手とロボットを融合した、新たな介護へ

INTERVIEW

社会福祉法人 善光会
理事、最高執行責任者 兼 特別養護老人ホーム
フローズ東郷谷 施設長

宮本 隆史さん

2007年、善光会に入社。特別養護老人ホームで介護職、現場のマネジメント業務に従事。その後、グループホームなどの立ち上げ、施設長を経て、諸施設の統括施設局長に就任。2009年より介護ロボットの研究・導入を手掛け、介護施設自らが介護ロボットの研究開発を行う取り組みを推進。総務省の標準的な医療介護データ活用推進委員会にも参加。



業界を変えることを目的に 法人を設立。いち早く 「HAL®」を導入

当法人は、「社会福祉を変えていく」という考えのもと、2005年に設立されました。そこで、「業界の行く末を担う先導者となる」「オペレー

「ロボット介護推進プロジェクト」に参画 製品の実用化に貢献

また同時に、「Kinect」で利用者さまのための「歩行測定プログラム」も開発。機能訓練指導員などの専門職が配置される特別養護老人ホームでは、機能が低下している利用者さまを見つけて対処できますが、専門職が不在のグループホームでは困難です。しかも、グループホームは自立の利用者さまが大半。そこで、誰でも簡単に利用者さまの歩行状態を把握し対処できるようにしたことで、施設内の転倒事故を30%以上減少させることに成功しました。



コミュニケーション ロボット「Sota」で 職員の省力化につなげる

2015年には、東日本電信電話株式会社（NTT東日本）による、映像とロボットの連動による介護レクリエーションの有効性の検証を行いました。ただ動画を流すだけではなく、内容に合わせてロボットの「Sota」がセリフを読み上げたり一緒に動いてくれたりするというもの。ロボットであることを理解した上で楽しんでいただける利用者さまが多いことが分かり、週1日のレクリエーションを「Sota」に任せることで職員の省力化につなげることができました。脳トレや体操などのコンテツは5〜10分にまとめ、連続して行うことで、飽きずに参加してもらえています。

研究室に寄せられた共同研究の中に、公益財団法人テクノエイド協会の「ロボット介護推進プロジェクト」があります。ここでは、電動歩行アシストカートや見守り支援機器などの実証実験を行いました。技術は素晴らしいけれども実際の現場では使いにくいものがとても多く、その改良と実用化に一定の貢献をしています。



コミュニケーションロボット「Sota」。動画の内容に合わせてセリフを読んだり動いたりすることで、利用者に新しい楽しさを提供。利用者アンケートで好評が確認された。月に何回かのレクリエーションに活用し、その際の介護スタッフの省力化にもつなげている。

AIを活用した 人材管理システムを開発 人材不足軽減を目指す



「介護ロボット研究室」は、2016年7月に「介護ロボット・人工知能研究室」に改名し、AIの研究にも着手しています。AIのエンジニアも2名、採用しました。目下、介護職員の定着率の向上を目指して、AIを活用した人材管理システムを開発しています。介護職員の配置や勤務状況、職場のハードさ加減、退職理由などさまざまなデータを解析し、スタッフごとの適材適所や必要なマネジメントなどの「解」を求めるといったものです。一応完成はしましたが、まだ精度が低い部分があり、引き続きデータをためてディープラーニングを進めていると



ジェスチャーや音声認識によって操作ができるマイクロソフト社のデバイス「Kinect」を活用し、センサーによって体の動きを骨組みから認識する装置を開発、入居者の「歩行測定プログラム」を作った。これにより、転倒事故の30%以上の減少につなげる



介護業界にはまだ「人の手がすべて」という考え方が強くあると思います。一方で、ロボットに助けてもらえる余地はふんだんにあるはず。そこを主体的に考え、どう活用すれば利用者さまや職員、施設経営が最適化できるかに取り組める人材の育成に貢献し、業界を変えていきたいと思っています。

介護業界にはまだ「人の手がすべて」という考え方が強くあると思います。一方で、ロボットに助けてもらえる余地はふんだんにあるはず。そこを主体的に考え、どう活用すれば利用者さまや職員、施設経営が最適化できるかに取り組める人材の育成に貢献し、業界を変えていきたいと思っています。

そしていま、「介護業務の25%軽減」を目標とする「ハイブリッド特養プロジェクト」を推進。人の手とロボットを融合する、新しい介護のモデルを探求しています。そして、これを担う「ロボット介護専門士」という民間資格を立ち上げました。目下、自法人内でのみ運営していますが、いずれ開放し、社会に広めていきたいと考えています。



Free(ディーフリー)』を軸に、間違いなく世界は一步進みます。その力を込める中西さん。インターネット上に記事が公開されるやいなや、世界中から多くの問い合わせがあったという「DFree」。超音波センサーを内蔵した手のひらにおさまるサイズの小型ウェアラブルデバイスを、下部に装着することで体内をモニタリング。本体から無線通信によりクラウドへ情報を送り、独自のアルゴリズムによって得られた排泄予測情報をスマートフォンなどの通信端末へお知らせします。開発のきっかけは、「外出先で、うんこを漏らしてしまったこと」と笑う中西さん。「もし、家を出る前に便宜が分かっていたら」。この強烈な原体験から、DFreeの開発はスタートします。

介護現場の排泄ケアは、センサーを使って排泄を検知する技術なども検討されてきましたが、もしも事前に予測ができれば、「そのときひらめいたのが、妊婦さんのお腹の中を見るエコーです。1センチほどの小さな胎児を見られるなら、排泄物だって見られるだろうと。ただ、僕自身はエンジニアではありませんから、僕のネットワークに呼び掛けました。こういうものを作りたいんだけど、どうすればいい?」って。それから、知り合いの医師や技術者に自身のアイデアを話し

**妊婦さんのお腹の中を見るエコーを応用
体内をモニタリング**



**介護現場を体感。その
想いを開発への意欲に
実験、検証を繰り返す**

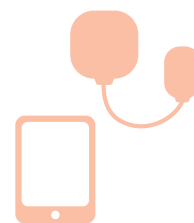
ては助言を仰ぎ、着想からわずか半年後の2014年10月、賛同した東北大学の教授をアドバイザーに迎え、超音波機器の開発のための実験設備を備えた会社とも出会い、本格的な製品化に着手します。

技術的な検証を進める一方で、介護現場でのマーケティングも行いました。「実際に、マーケティング担当者が介護現場を体験。排泄ケアは想像以上に大変で、ご本人もスタッフの方も皆さん本当に困っていました。特に、下着交換をするときのご本人の申し訳なさそうな表情が印象的で。できるな



提供:「神奈川新聞社」

らば排泄は自分でしたいという気持ちを強く感じました」
検証過程で、課題も発見しました。お腹の中を見られることは分かっていたのですが、問題は、どういう状態になったときに排泄するのかが分からなかったこと。DFreeは超音波で体内の動きをモニターし、そのデータを見ているのですが、そのデータがどうなったときに便宜や排泄が起こるのが未解明のままでした。ここからは文字通り、開発メンバーが体を張ってデータをとり、検証を行いました。直腸の中で水風船を膨らませたりしながら(危ないので絶対にマネをしないでください)。「テスト機を用いて、さまざまな実験、検証を繰り返しました」。



04

トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社
Triple W



**介護時間は3割削減、おむつ代は半分に
世界初！ 排泄予知デバイスが介護を変えた！**

INTERVIEW

トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社
代表・オーガナイザー

中西 敦士さん

慶應義塾大学商学部卒。大手企業向けのヘルスケアを含む新規事業立ち上げのコンサルティング業務に従事。その後、青年海外協力隊でフィリピンに派遣。2013年よりUC Berkeleyに留学し、2014年に米国にてTriple W、2015年にトリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社を設立し、排泄予知デバイス「DFree(ディーフリー)」を開発。

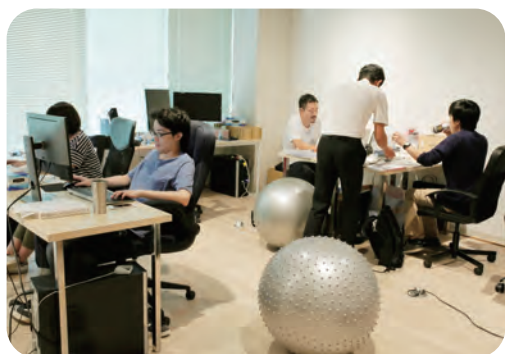


**自らの排泄トラブル
という原体験から、
開発はスタート**

「目指すのは、便モレ尿モレゼロの社会。いま、僕たちが考えるアイデアがすべて実現して世界の標準になれば、きっと世界中の人が救われる。『D

商品と売るわれわれと
介護者と利用者。
その信頼関係が大切

満を持して、2017年4月よりD Free（排尿予知）の量産を開始。大手介護施設や病院など、半年間で全国約150施設に広がりました。まさに、爆発的な大ヒットです。「施設からは、介護時間を3割削減できました、おむつ代が半分に減りましたと、具体的な数字をいただきました。また、排尿時間が分かるので、利用者さんが自主的にトイレに行くようになったとの報告も受けました。たくさんさんの報告を受けましたが、その中でも利用者さ



んが自信を取り戻したという報告が、一番うれしかったですね。D Free自体は1丁かもしれません、扱うのは人間です。介護者や利用者が面倒くさがり、適当につけたりしてしまっていると、ちゃんとしたデータが出てきません。実は、介護者や利用者との信頼関係がないと成り立たない商品だというのも、実際に販売して気付きましたね」

3名から始まり
現在、社員20名
海外進出も本格的に

3名の創業者が始めたトリプル・ダブリュー・ジャパンも、いまやスタッフ20名。海外からの問い合わせも多く、今年6月にはフランスの世界的に有名な介護施設において、本格導入に向けたトライアル運用を実施しました。欧州への本格進出のため、7月にはパリにフランス支社も立ち上げました。2018年には代理店と契約し、香港などアジアも視野に入れながら販売規模の拡大を計画中です。「直近の課題は、スマートフォンなどの端末のグラフを見やすくすること。現在はタブレットが必要なので、もっと通知先を増やすなどの細かな見直しも、しっかりとやっていきたいです」



スタッフと打ち合わせをする代表の中西さん（右）。「社員は現在20名、介護施設の営業担当は5名いますが、彼らが介護施設や利用者実際の声を聞き、開発現場にフィードバックしています」



「DFree」とは、英語で「diaper free＝おむつ要らず」の意味。手のひらサイズの小さな装置で、丸みを帯びたデザインが、親しみやすさを感じさせる。エコーにより腸内をモニターし、スマホの専用アプリで排泄のタイミングを知らせてくれる

クリエイティブな
介護業界は、ビジネス
チャンスも多い

日本はもちろん、世界中が高齢化社会へと突入するなか、介護ケアの負担減は大きな社会問題となっています。「介護は受ける側ファースト。実は、排泄に関する悩みを抱えながら生活をしている人が、世界中で約5億人いるといわれています。D Freeは、そんな人々を排泄の悩みから解放し、これまで通りの生活続けるためのサポートを行います。それが、ユーザーだけでなく介護する人や家族など、周りの人々も自分らしいイキイキ



とした生活を送ることにつながっていきますよね」

現在、D Freeは排尿予知に限られています。今後は排便予知、在宅介護、そして一般ユーザーへの販売を視野に、事業を広げていく予定です。「介護業界は課題も多いと思います。が、実はクリエイティブな要素もビジネスチャンスもたくさんある。介護Ⅱ自分の未来。身近なところで親のこと、そして自分のこととして捉えて、チャレンジしてほしいと思います」





05

ヤマハ発動機株式会社 Yamaha Motor Co., Ltd.



車いすを人に近づけて、生活をアシスト
ヤマハ発動機が生んだ、電動車いす

INTERVIEW

ヤマハ発動機株式会社
SPV 事業部 JW ビジネス部 JW 技術グループ
グループ リーダー 松苗 徹さん(左) 主事 糸賀 信行さん(右)

松苗徹さん(左) / 2004 年入社。当時の IM カンパニー要素技術グループに配属され、入社直後から電動車いすの制御ソフト開発。以来、JWX-1 シリーズ、JWX-2、JW の電池、充電器と、JW の開発に携わる。2017 年 JW 技術グループの GL に。

糸賀信行さん(右) / 1995 年入社。IM 事業部に配属、2004 年よりマウンター技術グループと JW グループとを兼務、JWX-1 の開発に関わる。2006 年 JW グループへ異動。以降、JW の電気関連全般の開発・設計に従事。



電動アシストユニット
リニューアル。世界初
の片流れ制御搭載

ヤマハ発動機は、製品づくりを通して感動と豊かな生活を提供することを企業目的として、健康・福祉分野への貢献や高齢社会への対応に注力し

ています。その活動の一環として、独自の制御技術や駆動技術を応用し、既存の手動車いすを電動化できる「車いす用電動ユニット」の開発・製造・販売に取り組んできました。ここ 10 年間、平均約 2 万台※1)と電動車いすの伸びが感じられない日本においても、ヤマハ発動機は「簡易型電動車いす」という新しい車いすのカテゴリーを創りました。ここ 5 年間で海外向けの出荷も増やしてきました。中でも、車いすを漕ぐ力をアシストする「電動アシスト車いす」は、世界初※2)の電動アシスト片流れ制御という新機能を搭載して、2017 年リニューアル。また今回新たにアシスト距離制御を改良し、使用者の身体の状態や使用環境に合わせて、ひと漕ぎ当たりのアシスト走行距離が細かく調整できるようになりました。

(※1)電動車いす安全普及協会調べ
(※2)ヤマハ発動機調べ



新しい電動車いすの
市場を生み出した
車いす用電動ユニット

ヤマハ発動機が、「車いす用電動ユニット」の販売を開始したのは 1995 年。当時の電動車いす市場は、障がいをもたれた方が主に使う「ジョイスティック(普通)型」と、高齢者の方が主に使う「ハンドル型」の 2 種類だけでした。「移動は楽ですが、車体が大きく重量もあり、見た目も車いす然としていて、自動車に積むことは困難でした。電動ユニットは、既存の手動車いすの車輪を電動ユニット付きの車輪に交換して、車いすを電動化。電動車いすの走行性と、手動車いすの軽さや小回りのよ

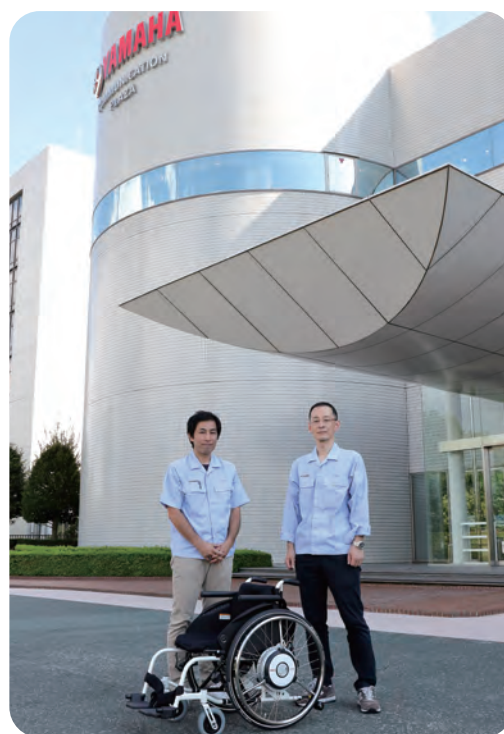


さを生かしました。軽くて折りたたむため、簡易型電動車いすと呼ばれるようになり、画期的な商品として、新しい電動車いす市場を生み出すことになったのです」と糸賀さん。

1996 年発売以来
進化する
電動アシストユニット

1996 年に発売された「電動アシストユニット」は、世界初の電動アシスト自転車「ヤマハ PAS(パス)」の「パワーアシスト・システム」を応用し、車いすを漕ぐ力を電動でアシスト。腕や手の力が弱いなど手動車いすの駆動が

難しい方でも移動することが可能となりました。2013 年、アシストの強弱などを利用者の身体の状態に合わせて調整できる専用ソフト「JW Smart Tune」を搭載した電動アシストユニット「JWX-2」、2014 年にはこの「JWX-2」を搭載した完成車「JW スウィング」も発売。「専用ソフト」JW Smart Tune は、パソコンの専用ソフトとつながることで、左右のバランスやアシスト力、応答性、直進性、旋回性を細かく設定できます。また、フラットタイプの AC サーマーターを導入し、車輪のハブ部分にすべて収めてコンパクト化にも成功。ほとんどの車いすに簡単に装着できるようになりました」と糸賀さん。





ロングモードは疾走感が気持ちよく、ショートモードは電動アシストはしっかり機能しているが動きすぎない印象。気持ちにフィットした細かい動きができるのでストレスフリー。「乗るのがカッコいいと思えることも大切」。バッテリーの色などのデザイン性にもこだわ

「人を車いすに近づけるのではなく、人自身を人に近づけるのです」と二人は口をそろえて言います。「まるで眼鏡をかけるかのように、電動車いすに乗る。そんな自然な環境にしていきたいですね。ヤマハの電動車いすを使えば、いままでできなかったことができる。乗ることに対するバリアをなくせば、心の負担も軽くなる。できれば健常者の方にも体験してい

電動車いすを「ヤマハの乗り物」として楽しんでほしい



ただきたいです」と糸賀さん。「小学校の福祉授業の一環で、子どもたちが電動車いすを試したのですが、それはもう楽しそう。車いす、というよりは、輪のついた乗り物を楽しめる感覚。『ヤマハの乗り物』の一つとして、FUN(楽しさ)という領域にもチャレンジしていきたいですね」と松苗さん。最近では、『JW女子』という、当社の電動車いす『JWシリーズ』をアクティブに乗りこなす女性ユーザーたちの輪も広がり、『ヤマハJWガールズミーティング』と題したユーザー参加型イベントも開催しています。



使う人の身体能力や使用する環境によりフィットできるように

そして2017年、『JWX-2』『JWスウィング』に、世界初の「片流れ制御」と「アシスト距離制御」を新たに搭載しました。「通常車いすは、道が横方向に傾斜している場合、片腕に負荷がかかり、どうしても傾斜方向に曲がってしまいますが、『片流れ制御』は、左右同じ力で傾斜方向に曲がらず、直進することができます」と松苗さん。「アシスト距離制御」は、ハンドリムを漕いで手を離れた後に進むひと漕ぎ当たりのアシスト走行距離を、使用者の身体の状態や使用環境に合わせ、9つのアシスト走行距離の中から最適なものを選択することが可能になりました。

外部機関と共同開発技術とコストのバランスとの戦い

身体の一部のように、もっと小回りを楽に。今回のリニューアルに際し、初めて外部機関(※3)と共同開発し、商品化を目指しました。「アシスト距離制御は、走行距離をのばすロングモードは従来の技術なのですが、抑制モードはいわゆるブレーキ。最適な距離を算出するのが大変でした。ソフトを改良しては福祉施設で試しての繰り返し。微調整を重ね、いままでのスタンダード1に対し、最も短い0.1から0.15、0.2、0.25、0.3、0.5と細かく刻みました」と松苗さん。「製品の販売数は数千台。そういう意味で技術とコストとのバランスと常に戦っていますね」と糸賀さん。

(※3) 国立大学法人東京大学先端エネルギー工学専攻・堀洋一研究室(片流れ制御と福祉技術研究所(株)市川湧氏(アシスト距離制御))



磐田市ヤマハ発動機本社にある「コミュニケーションプラザ」では、オートバイやポートなどがズラリと並び、アシストタイプの「JW スウィング」、ジョイスティックタイプの「JW アクティブ PLUS+」

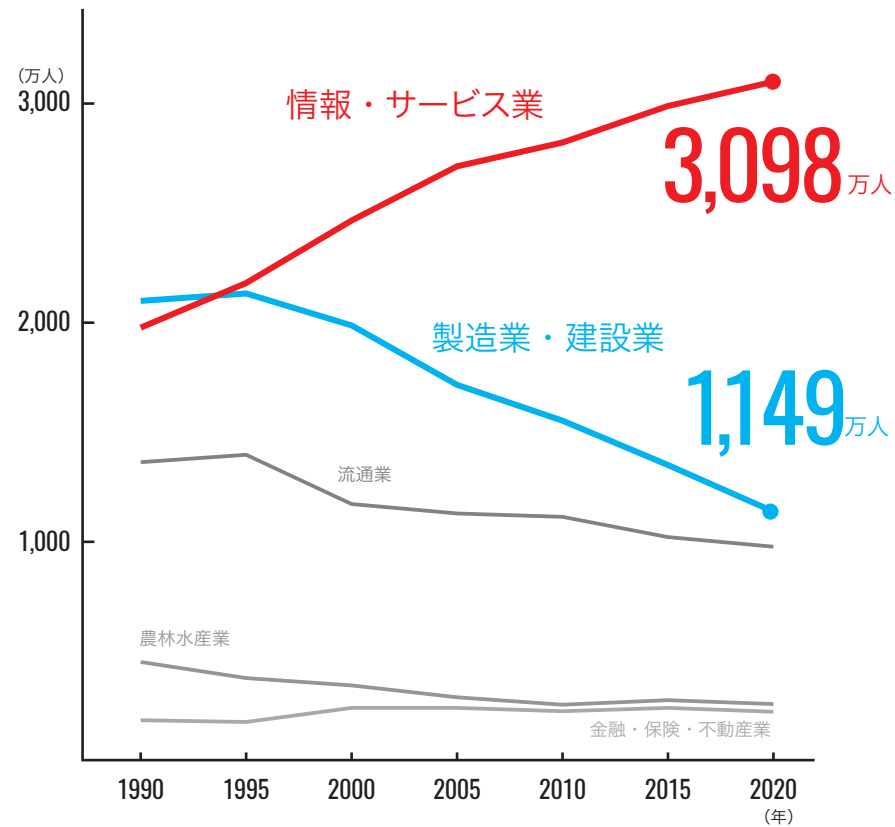


どう変わる？

日本の未来。



Industry



製造業から、情報・サービス業へ雇用がシフト

日本経済を支えてきたものづくり（製造業）で働く人の数は、1995年をピークに減少を続けています。メーカーが工場を海外へ移したことが理由で、1990年と2020年では半減近くになり、その後も減少傾向は続く見込みです。代わって数を増やすのが、情報・サービス業。日本は、情報・サービス業が主流の国となりそうです。

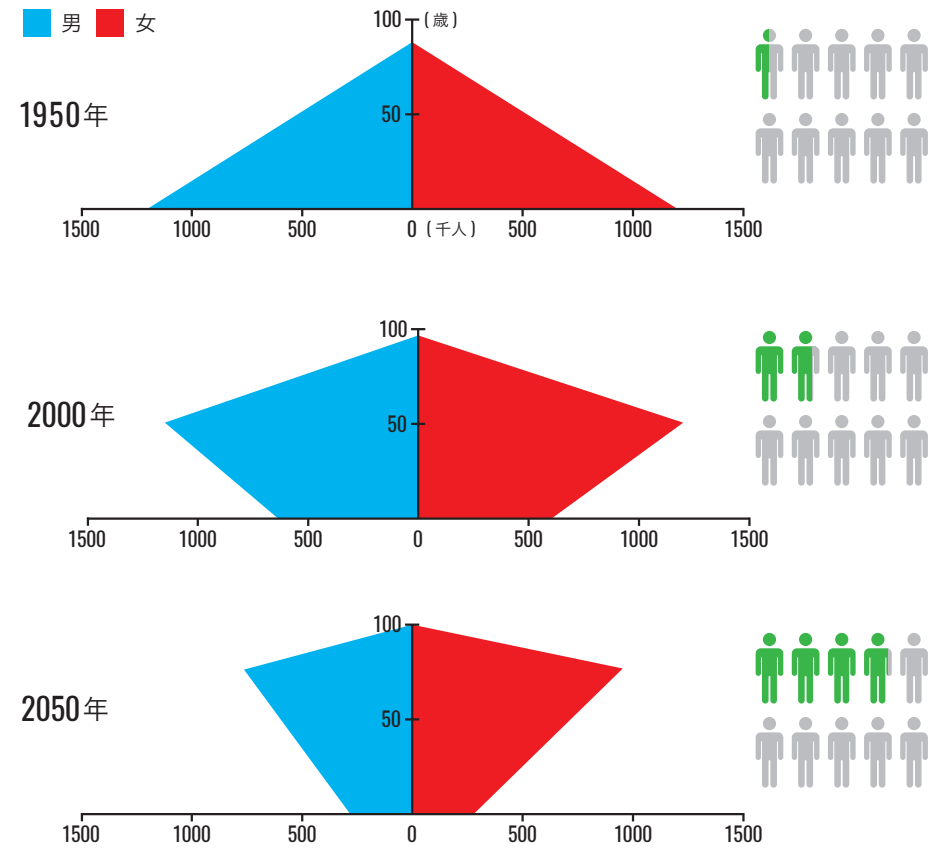
データ：ワークス研究所「2020年の働くを展望する 成熟期のパラダイム転換」

知ってた？

日本の新成長分野は7分野

2012年に政府が発表した新成長戦略による成長分野は、「環境・エネルギー」「医療・介護・健康」「アジア経済」「観光・地域活性化」「科学・技術・情報通信」「雇用・人材」「金融」の7つ。また、高齢化が進む日本では、あらゆる商品・サービスで高齢者向けの視点が欠かせなくなっていきそうです。

Population



日本の人口ピラミッド

1950年には、きれいなピラミッドを描いていた日本の年齢別人口も、少子高齢化が進み2050年には逆三角形に近いかたちになる。総人口も減り続け2050年には1億人以下になると予想されていて、今とは社会の構造・産業そのものが変わってしまうでしょう。2050年には、2.5人に1人が高齢者というだれも体験したことのない社会がやってきます。

知ってた？

あのスウェーデンよりも早い？

日本はこの20年ほどの短期間で一気に高齢化が進んだのが特徴です。高齢化率が12%代から23%代になるのにスウェーデンでは70年かかりましたが、日本は20年でこれを達成してしまいました。今後は、韓国・中国などアジアの高齢化が進むといわれています。中国では、すでに高齢者人口が1億人を越えているそうです。

2050年には、2.5人に一人が高齢者という社会になります



施設介護サービス

「特別養護老人ホーム」

#1 社会福祉法人中川徳生会

居宅介護サービス(入居型)

「有料老人ホーム」

#2 グリーンライフ東日本株式会社



居宅介護サービス(通所型)

「デイサービス」

#3 株式会社ユニマツ
リタイアメント・コミュニティ



居宅介護サービス(訪問型)

「訪問介護」

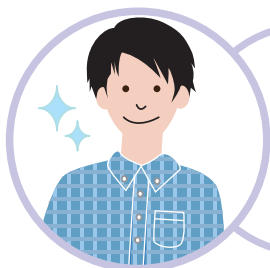
#4 株式会社ソラスト



居宅介護サービス(入居型)

「グループホーム」

#5 メディカル・ケア・サービス
株式会社



☞ P62・63「介護の仕事の探し方」のページで介護の業態について説明しています。併せてご覧ください。

「介護」といってもいろいろある！ 業態別介護のお仕事インタビュー

INTERVIEW

みつけよう！自分に合った介護のお仕事 ～いろいろな介護のお仕事をのぞいてみよう～

介護業界には、さまざまな働き方があります。

利用者やサービスの内容によって職場は分類され
職務内容や勤務形態も大きく変わり、想像以上に多彩です。

その分、活躍できるシーンも多数。

現場で働く「ヘルプマン」たちのインタビューを通じて、

自分に合った働き方をイメージし、

彼らと共に描く未来を創造してみてください。



掛けをすることを心掛けています。また、状態や要望は一人ひとり違うので、スタッフの誰が交代で入っても同様の対応ができるよう、記録をしっかりとして共有しています。看護師や栄養士も加わるユニット会議で、それぞれの視点から意見を出し合い、最適なケアが行えるように努めています。

元々、人の役に立つ仕事がしたいという思いはありましたが、「介護の仕事がしたい」という強い思いがあったわけではありませんでした。大学の必修科目で介護現場を体験し、「こういう仕事もあるのか」と感じたときが最初の出合いです。就職活動のシーズンになって、就職課の掲示板で当法人の求人票を見かけました。たまたま勤務地が家から近く、応募したことが入職のきっかけとなりました。当初は不安

研修で介護の基礎を学ぶ
入職時の不安を解消

なぜ介護なんですか？

不安な気持ちを減らすため
声掛けを心掛け

初めて入居する方は、最初はとても不安だろーと思います。それまで生活してきた、慣れ親しんだ環境と全然違う場所だからです。だからこそ、できるだけ不安な気持ちを減らすべく、声

大切なことは？

でしたが、研修でしっかりと基礎を学ぶことができたので、現場にもなじんでいくことができましたね。4年目の冬に介護福祉士の資格を取得しました。

最後の誕生会を企画
本人や家族も大喜び

担当ユニットの、とあるご利用者様の最後の誕生会を私が企画して開きました。甘いものがお好きなご本人が食べたいと言ったあんみつを作り、ご家族や他のご利用者様も呼んで、みんなで祝いましたのです。ご本人は、「おいしい」と言って、涙を流してくれました。その穏やかでうれしそうな表情を見て、ご家族も大変喜んでいらっしやいました。その数日後、看取りとなったのです。最期に満足していただけたらいいなと思っています。

仕事のいい話教えて



祖父母が要介護となっても
困らないよう学んでいきたい

私には、まだまだ元気な祖父母がいます。しかし、いつか要介護状態となるかもしれません。そうなったとき、家族の誰かに少しでも知識や経験があった方が、本人たちは幸せに過ごせると思います。特別養護老人ホームでは看護師や栄養士と関わることも多く、病気や薬のこと、高齢者の食事のことなど、いろいろなことが学べます。せっかくこんなよい環境にいるのですから、もっと学んでいきたいと思っています。

今後の目標は？



要介護度の重い入居者を 看護師や栄養士とのチームで介護

施設介護サービス

特別養護老人ホーム

#1



社会福祉法人中川徳生会
特別養護老人ホーム ピオラ市ヶ尾
介護スタッフ

赤嶺 ひかりさん

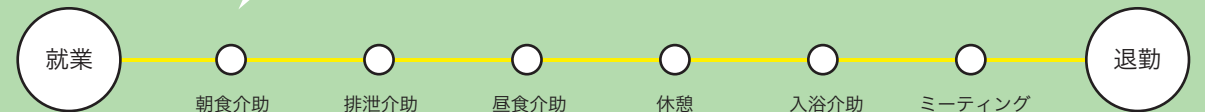
特別養護老人ホームとして、要介護度4もしくは5という重度のご利用者様10名からなる1ユニット（※）を担当しています。看護師や栄養士、ケアマネジャーとも連携し、常にご利用者様の状態を共有。チームでのケアにより、自分の幅も広がっていると実感しています。

Profile

保健体育科の教員を目指して体育大学に進学しました。3年次に「介護等体験」という必修の実習があり、デイサービスでの介護業務を体験。その後、就職課の掲示板上に当法人の求人票が貼られているのを見かけ、家から近いということもあって応募しました。2013年に入社後、特別養護老人ホーム「ピオラ三保」に配属。2015年5月、現在の「ピオラ市ヶ尾」に異動しました。

ある一日の Work Style

いまは育児中で日勤だけなので8時30分に出勤し、17時30分に退勤しています。午後の1時間を挟んで、基本的にずっと10名のご利用者様のケアに携わっています。



（※）10人程度の少人数グループ（少人数グループをひとつの生活単位とし、個々の専用スペースと専任の職員を配置することで、個性を重視したケアを実現させる）



なぜ介護なんですか？

高齢者が身近な存在
自分でも役に立てる喜び

祖父母の家は私にとっては「第二の家」。みたいなもので、幼少のころからよく遊びに行っていました。年をとると、身体が不自由になっていくものだというのを自然に受け入れていたように思います。また、車で困っているお年寄りを見かけたとき、「どうかされましたか？」と声を掛けると相手がほっ

大切なことは？

Wantsの裏にある
Needsを見つける

とした表情を見せてくれました。そのような経験が、自然と自分を介護の世界に向かわせたと思っています。

難しいような要望に対してもすぐに「NO」と言わずに、どうすればご利用者様の要望に近づけられるかをみんなで考えるようにしています。

グリーンライフは、Wants（要望）だけでなく、ご本人も気付いていないNeedsに配慮される会社を目指しており、そのためには、その方に関心を持ちその方のごとをよく知って、ご利用者様にどう満足していただくかも大事な視点だと思っています。

仕事のいい話教えて

「ここが最後の船着き場」
最期の満足の言葉が聞けた

ご利用者様は、不安を感じて毎日を過ごされていると思います。だからこそ、24時間・365日ケアを受けられる介護付き有料老人ホームのスタッフとして、ご利用者様といういろいろなお話を少しでも不安感を軽くできるように心掛けています。心に残っている話としては、お茶の師範のご利用者様が、居室でお茶をたててくださった際にお話をよく伺っていたのですが、その方に「ここが最後の船着き場」と言っていたことです。実際に看取りまで行いましたが、最期までご満足いただけたのではないかと思います。

今後の目標は？

さらに経験を積んで
子どもに誇れる仕事を

「全介護スタッフで全ご利用者様のケアを」という考えで、フロア別の担当制を廃止しました。いろいろな声もありましたが、すべてのご利用者様に一層関心が向けられ、スタッフの視野も広がったと感じています。また、2017年春、会社全体の取り組み「接遇マナー浸透プロジェクト」のメンバーにも選ばれたので、「シーハーツ柏の葉」がさらによくなるよう積極的に取り組みたいと思います。10代・20代の若いスタッフの目標になれるよう、さらに経験を積み、自分の子どもにも誇れるような仕事をしていきたいです。

利用者様のWantsの裏にある
Needsを見つける居宅介護サービス
(入居型)

有料老人ホーム

#2

グリーンライフ東日本株式会社
介護付き有料老人ホーム シーハーツ柏の葉
ケアリーダー

中村 善朗さん

一介護スタッフとしてもご利用者様のケアに携わり、全78名のご利用者様の状態を常に把握し、ケアリーダーとして3フロア・計30名の介護スタッフの取りまとめを行っています。

Profile

2007年に学校卒業後、介護老人福祉施設に入職しました。さらに介護の幅を広げてみたいと思い、2010年に当社に転職し、有料老人ホーム「グリーンライフ船橋」に配属になりました。「グリーンライフ船橋」では住宅型と介護付きの介護の違いを学び、両方の介護サービスを学ぶことができました。そして、2016年10月に現在の勤務先である「シーハーツ柏の葉」にケアリーダーとして異動しました。

ある一日の Work Style

ケアリーダーもシフト制の勤務ですが、日勤の場合は9時00分に出勤し17時30分に退勤します。ケアリーダーの主な仕事は、シフト管理や介護スタッフと一緒に現場に入り、適切に介護が提供されているかも確認・指導をしています。ケアマネジャー、リハビリスタッフや看護師との連携をとるため、定期的にカンファレンスを行っています。

就業

申し送り
チェック

朝礼

カンファ
レンス

水分補給

排泄・入浴・
食事介助レクリエー
ション入居者
状況確認(新人指導
振り返り)

退勤



どのよう介護を求めているかは人によってさまざま、一人ひとりのニーズを満たすためには、既往歴や家族構成などの基本的なことはもちろん、好みや性格までしっかりと分かってあげることが大切です。それ以外にも、情報を得るためにおしゃべりをする中で絆が深まり、相手に信頼してもらえるようになったと思います。

この仕事に興味を持ったのは高校3年生のときです。当時、介護職が「3K」と言われる仕事にカウントされていたことから、実際の現場がどのようなものであるかを自分の目で確認したいと思いました。そこで、高校卒業後は大学の社会福祉コースに進学し、在学中にさまざまな形態の施設を訪問することで、「生きた介護」を体験していきました。そして、体験を通じて、ひとりでは日常生活が困難な方でも、周囲のサポートによって毎日を笑顔で過ごせるようになることを学び

心に寄り添った介護で
みんなを笑顔にしたい

なぜ介護なんですか？

相手を知らずとすること
信頼関係が築かれる

大切なことは？

ました。しかし同時に、スタッフ同士の連携のとれていない施設では、業務がうまく回っておらず、お客様の心に寄り添ったケアができていない実情も知ったのです。そのため、「丁寧な介護に携わりたい」との思いがより一層強くなり、顧客満足度を重視している『そよ風』を選びました。

実際に働き始めてからは、相手の心に寄り添うために、まず「相手を理解すること」の大切さを実感しました。

家庭訪問も大事な仕事
ご家族からも話を聞き
お客様への理解を深める



とはいえ、午前中から夕方までの限られた時間のみの利用となるデイサービスという形態では、ご本人との会話のみではすべてのニーズを把握できないこともよくあります。そのため、それを補うために各家庭を訪問してご家族に直接話を聞くこともあります。



こうしたさまざまな工夫を重ねながらお客様と接し、密にコミュニケーションをとる中で、見識が広がることもこの仕事の楽しいところです。皆さん人生の大先輩なので、知識も経験も豊富で、中には戦争体験などを聞かせてくれる方もいらっしゃいます。学生時代から日本史が好きだった私にとってはとても興味深い話ばかりで、もっと聞かせてほしいとせがむこともあります。そして、そんな私の姿や喜ぶ顔を見て、話し手の方がそれ以上の笑顔を返してくれる。そんな笑顔が生まれる瞬間が、なによりもやりがいを感じられるときです。

楽しく会話することで
お互い笑顔になれる

やりがいを感じる瞬間は？

親身に接することで笑顔が 返ってくることがなによりの喜び

居宅介護サービス
(通所型)

デイサービス

#3



株式会社ユニマット リタイアメント・コミュニティ
流山ケアセンターそよ風
介護福祉士

岩住 昭平さん

関わる人がみんな笑顔でいられることがうれしいです。そのためには、自分ひとりががんばるのでは不十分なので、チームワークの質を上げることも意識しています。スタッフ同士の絆を深めることが、みんなが気持ちよく過ごせる環境づくりにもつながると考えています。

Profile

高校3年生のときに介護・福祉の道を志したいと考え、大学は社会福祉コースに進学しました。4年間みっちりカリキュラムをこなしただけではなく、さまざまな現場での実習も重ねて経験を積んできました。中学・高校のころを振り返ってみても、日頃から高齢者の方が横断歩道を渡る時には率先して手助けする方で、人の役に立っているという実感が、とにかくうれしいです。

ある一日の Work Style

朝礼後、お客様宅を車で回ってピックアップ。センターに戻ったら、入浴介助、昼食準備、レクリエーションなどを経て、夕方にはご自宅に送り届けます。

就業

朝礼

送迎

入浴
サービス

集団体操

朝食&歯磨き

日替わり
イベント開催

おやつ

送迎

退勤



わたしが訪問介護の仕事を始めたのは4年前のことでした。将来の目標が無いままスタートした就職活動の一環でデイサービス施設での介護を体験したところ、あまりの衝撃に思わず涙するような出来事があったんです。

訪問先の施設で、母と同世代と思いき若年性アルツハイマーのご利用者さまが大声を上げていたのです。動揺するわたしをよそに、まったく動じることなく接している職員の方を見て、この人はなんて立派な人なのだろう！と、自然にうつつときたのを覚えています。

なぜ介護なんですか？

きっかけは介護体験
誰かの役に立つ仕事が
一番しっくりきた

そのとき、自分自身も誰かの役に立つ人間になりたいとの思いが芽生え、体験終了後も説明会に足を運んで情報収集を始めました。その結果、介護の仕事が一番自分にしっくりくると感じ、介護業界への就職を決めました。

実際に介護の現場で働き
始めていかがでしたか？

最初はうまくできず失敗ばかり
ご利用者様にあきれられたことも

これまで介護の勉強なんてしたことがないので、仕事を始めたころは失敗ばかりでした。仕事では、ご利用者様と一緒に買い物に出掛けたり家事を手伝ったりするのですが、学生時代も自宅暮らしで、料理も洗濯もほとんどやってこなかったのでもってできて……。

結果、漂白剤と洗剤を間違えてあきれられたこともありましたが、一生懸命働きながら経験を積んでいき、通うほどにご利用者様も笑顔を見せてくれるようになりました。

地道な努力が認められ
サービス提供責任者に就任



もちろん、入浴や排泄介助を行うこともあります。生活の援助は体力がいるし、時には腰痛に悩まされることもあります。ですが、1対1の訪問介護の場合、いざというとき自分しかないの、強い責任感を持って仕事をやり遂げるしかありません。

強い思いを胸に日々の業務を丁寧になし続けて、2017年夏、サービス提供責任者に就任しました。現在では、ご利用者様宅訪問の合間を縫って、サービス提供の計画づくりにも時間を割いています。



やりがいを感じる瞬間は？

自分の存在によって
人を幸せにできる

大変ではありますが、やりがいも大きいです。実際、介護の仕事に就いていると言うと「大変そう」と言われることが多いですが、誰かの役に立っていることを肌で感じられ、感謝の言葉や笑顔を直接受け取ることができるのはとてもうれしいものです。訪問サービスの場合は特に、1対1で相手と向き合うため、相手との絆もより深いものになり、自分の存在によって誰かが幸せになることを強く実感できますよ。

1対1で向き合って心を 通わせ合うことができる仕事です

居宅介護サービス
(訪問型)

訪問介護

#4



株式会社ソラスト
ソラストときわ台

斎藤 明衣さん

仕事をするにあたっては、自然体であることを大切にしています。わたしから見たら皆さん大先輩。人を見る目も何倍もあり、取り繕ってもきっとばれてしまうはずなので、常に自然体でご利用者様が安心して過ごせるように心がけています。

Profile

4年前に「ソラストときわ台」に入職しました。就職活動時、さまざまな業界の説明会や面接に足を運ぶも、なかなか自分にフィットする会社と出会うことができませんでした。しかし、ソラストときわ台の面接ではそれまで経験したことがなかった居心地のよさを感じ、介護業界に進む決意をしました。そして2017年、サービス提供責任者に昇格したこともあり、ますます多忙な日々を送っていますが、その分やりがいもひとしおです。

ある一日の Work Style

わたしの場合、就業開始時間は7～8時ごろ。出社後は、数時間おきに異なるご利用者様宅を訪れて介護を行います。1日の勤務時間7.5時間の中で、訪れるお宅は約6軒。空き時間には書類を作成します。





なぜ介護なんですか？

人と人とのつながりを大切に生きていきたい

将来の選択肢として介護を考え始めたのは大学4年生のときでした。学校では社会学を専攻していたため介護に対する知識は乏しかったものの、小さいころから祖父母やその友人にかわいがってもらっていたこともあり、高齢者と接することが自分にとって自然なことだったので、説明会などに足を運ぶうち、すぐに興味が芽生えました。

人と深く関わる仕事に就きたいと熱望していたことから、「人と人とのつながりを、介護を超えるチカラに

仲良くなるって楽しい
一人ひとりの個性に合った
コミュニケーションが大事

就職活動時、さまざまな形態の施設を比較した結果、自分にはグループホームが一番合っていると直感したのですが、実際に働き始めてすぐ、正しい選択をしたと確信しました。

人とのつながりを大切に、一人ひとりの性格を見極めながら相手との距離を縮めていくことが楽しいですね。1対1でのコミュニケーションも、複数人で和気あいあいと楽しむ時間も、同じくらい魅力的です。

大切なことは？

緊張感を持って仕事をすることが大切

もちろん、仕事ですから楽しいだけではありません。入浴介助などリスクを伴うシーンも多いため、日々、緊張感を忘れずに仕事をしていきます。同時に、リスクをできる限り軽減して、より万全なサポートを提供できるよう、知識を蓄えてスキルを伸ばしていくことも大切です。そのため、仕事の空き時間や休日には、参考書籍を読んだりセミナーに参加したりして研鑽を積み続けています。



今後の目標は？

業界や職場を盛りたてる
担い手の一人として
自身の仕事をまっとうしていく

目の前の仕事に対してだけでなく、介護業界全体が抱える問題にも責任を持って仕事をするからです。そのためにもまだまだ勉強は欠かせません。日本はすでに超高齢社会ですが、これからさらなる高齢化が進むといわれています。つまり、今後介護のニーズはもっと高まるということ。だからこそ、もっと多くの人に介護という仕事に興味を持ってほしいし、自分はこの環境の中でしっかりと使命をまっとうしていきたいですね。



心のつながりを大切に 超高齢社会を支えていきたい

居宅介護サービス
(入居型)

グループホーム

#5



メディカル・ケア・サービス株式会社
愛の家グループホーム大田久が原

花本 周平さん

この業界はとにかく経験がものをいうので、一人前になるためには日々の研鑽が不可欠です。数年後にリーダーとして後輩に自信を持って指導できるよう、いまのうちに勉強して知識を貪欲に吸収していきたいです。

Profile

2017年4月に新卒として入社しました。大学時代は社会学を専攻しており、よりよい社会づくりに貢献できたらとの思いから、行政や保育の仕事も視野に入れつつも、最終的に介護の仕事を選びました。入職前には、いち早く現場に慣れて活躍できるように、自らアルバイトを申し出て、介護の知識やスキルを学びました。

ある一日の Work Style

月に5～6日は夜勤の当番日。最初のうちは生活リズムが乱れて体力的にきついと感じることもありましたが、次第にうまくコントロールする方法を身につけることができました。

就業

夕食介助

口腔ケア

就寝準備

日誌作成

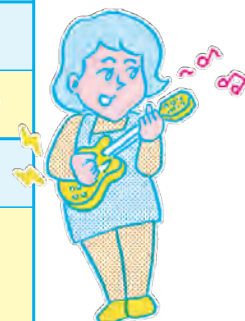
掃除

朝食準備
(簡単な調理)

退勤

さまざまな介護の資格※2

民間基礎資格
・介護職員初任者研修・ガイドヘルパー ・ケアマネジャー・介護事務
国家資格
・介護福祉士・社会福祉士・作業療法士・理学療法士
民間専門資格
・化粧療法士・医療福祉経営士 ・アートセラピスト・音楽療法士・学習療法士



基本的な介護の資格以外に、化粧療法士などの資格も仕事に生かれます。資格があれば、転居などがあっても仕事を探しやすいのも魅力。自分の興味と専門性を仕事につなげている先輩がいますよ。

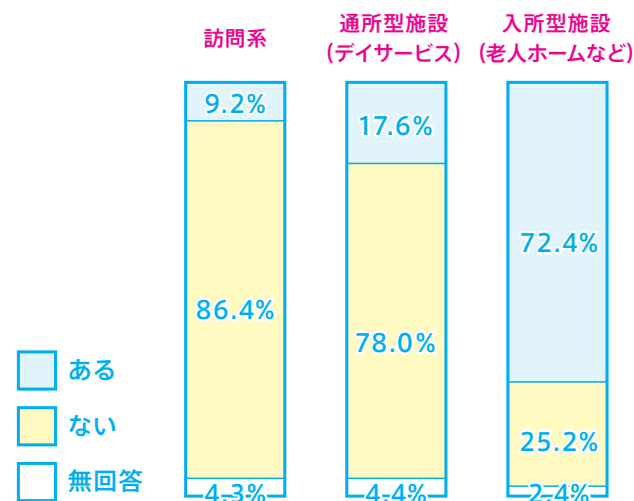
A

介護福祉士は国家資格です。それ以外にもいろいろな専門が磨けます。

Q

やっぱり資格があると安心。専門職なら長く働けそう。

深夜勤務の有無



現場の職員に聞くと、夜勤明けは休日だったり、さらに翌々日の出勤時間も遅くしてもらいシフトを調整してくれるそうです。それでも自信がない場合は、昼間だけの通所型施設を選ぶのも手。

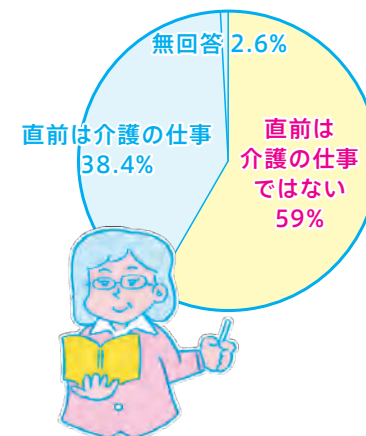
A

夜勤明けは休日にするなど、シフト調整をしてくれますよ。

Q

夜勤は体力的に心配です。みんなどうしているの？

前職のある人の状況



入職後に初任者研修を実施する事業所も多く、介護技術や知識などを学べます。ある事業所では、導入研修、3ヵ月研修、6ヵ月研修と節目ごとのサポートも。入職後の研修体制は要チェックですね。

A

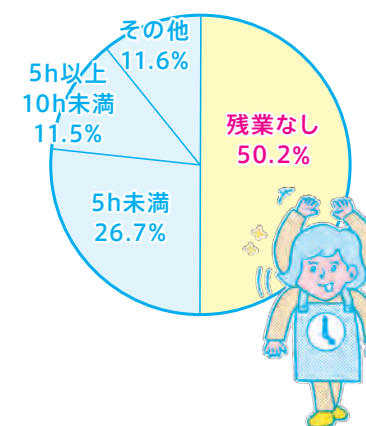
転職者のうち約6割は、介護業界以外からの転職者です。

Q

未経験ですがやっていけるでしょうか。

介護職員の1週間の残業時間

※正規職員の場合



1週間の残業時間を調べたところ、「なし」と答えた介護職員が約半数。美大出身のある介護士は、「自分の作品づくりの時間がとれるのが嬉しい」と、個展を開くことを目標にがんばっているのだとか。

A

介護職員の約半分が「残業なし」と答えています。

Q

できれば残業ゼロがいい。残業が多いつて聞くけどホント？

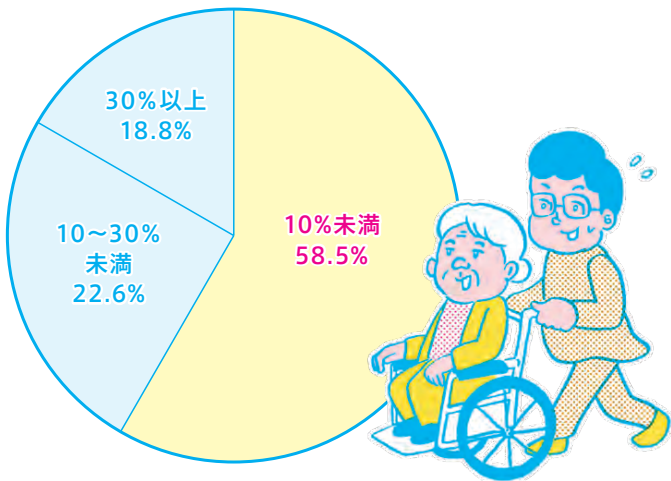
気になるギモンを解消。
介護のお仕事って実際どうなの？

お年寄りの生活を演出する仕事としてやりがいのある介護職。一方で大変そうなイメージもあるのですが、実際のところはどのようなのでしょうか？
そこで、介護で働いている人へのアンケート調査から、素朴なギモンを調べてみました。
さまざまなデータからチェックしてみましょう。



各介護事業所における1年以内の離職率※1

※介護職員(正規職員)の場合



業界全体の離職率は16.1%、産業全体(14.4%)とさほど変わりません。細かくみていくと、1年以内の離職率が10%未満とほとんど辞めないところが約6割。事業所ごとの差が大きいようです。

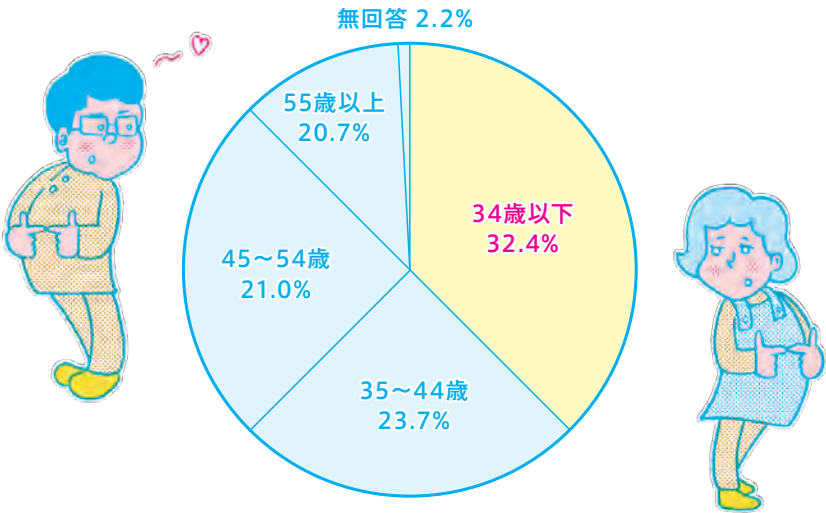
A

離職率10%未満の事業者が約60%です。

Q

やめる人が多いと聞きますが本当ですか？

介護職員の年齢



業界全体の平均年齢は45.1歳。そのうち、34歳以下の割合は23.3%。介護職員に絞ると、さらにその割合が増えて32.4%にも。職場でも気の合う同年代の仲間ができそうです。

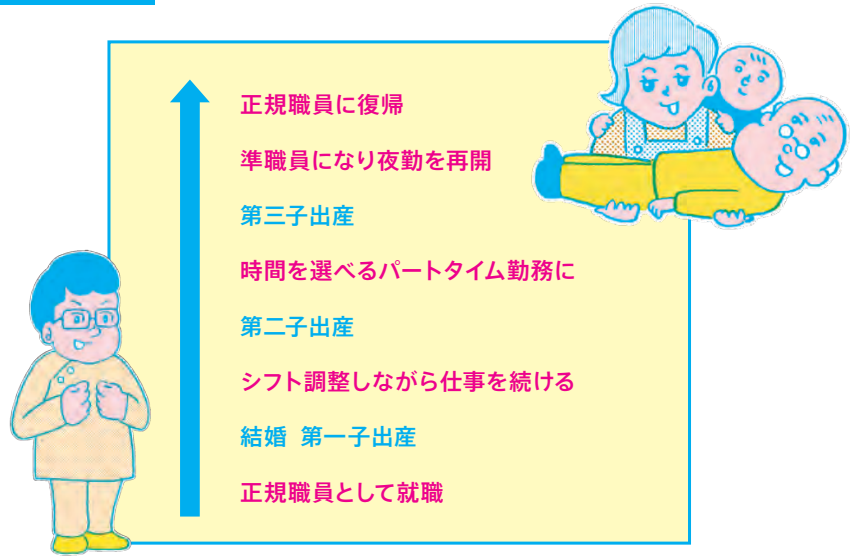
A

介護職員の約3割が34歳以下です。

Q

なんとなく年配の人が多そうだけど、職場に若い人はいるの？

Aさんの場合※2



都合にあわせて、正規職員やパートタイム勤務を選べたり、保育園を併設するなど子育てしながら働きやすい環境を整えているところも。働くママが多いので、お互いに助け合う環境もできているようです。

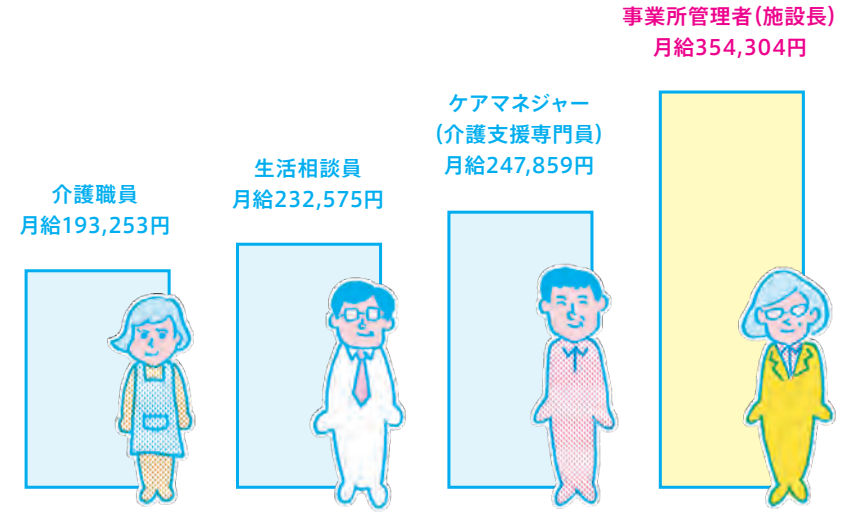
A

働く人の約8割が女性。子育てと両立するママもたくさんいます。

Q

結婚も出産も子育てもしたい。仕事と両立できますか？

平均月給



介護職から始めて、生活相談員やケアマネジャーなど仕事の幅が広がるごとに収入もアップ。管理者では月収約35万円に！事業所の数は今後も増えていくので、収入アップのチャンスも増えそうですね。

A

スキルアップすることにより収入もアップ。管理者なら月給35万円を超えます。

Q

お給料はいくらくらいもらえるの？

介護業界には、いろんなサービス、いろんな働き方があります。
どんな種類の施設、働き方があるのかイメージしてみよう！

訪問介護（ホームヘルプ） ・訪問入浴

利用者様の家を直接訪問して介護サービスを提供します。
利用者様との距離が近いのが魅力で、働く人にとって柔軟な働き方も可能です。

通所介護 （デイサービス）

利用者様に日中施設に来ていただき、介護サービスを提供します。
日中、利用者様に楽しんでいただくための企画やイベントを考えるのもやりがいです。

短期入所生活介護 （ショートステイ）

短期間の宿泊型の介護サービスを提供します。
利用者様には、普段の自宅とは違う環境・場を提供することで楽しんで日中を過ごしていただき、利用者様のご家族の日常介護の支援を行います。

認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）

認知症の利用者様に少人数制での共同生活を通して、介護サービスを提供します。
利用者様の生活の場に寄り添い、一人一人に合わせたサービスを提供できます。

介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）

社会福祉法人などが運営する居住型施設。
利用者様が暮らしやすいよう、日常生活サポートを中心に介護サービスを提供します。地域に根差した運営をしている事業者が多く、地域とのつながりが多いのも特徴。

サービス付き高齢者向け住宅

介護と医療が連携したサービスを提供する高齢者の方向けの「住宅」です。比較的、自立をした利用者様が入居するのが特徴です。
利用者様の理想の暮らし方を考え、生活を演出します。

小規模多機能型居宅介護

利用者様の要介護度・状況に合わせ、「通い」、「宿泊」、「訪問」などのサービスを組み合わせて介護支援を行います。複数のサービスを使い、トータルに利用者様を支援していけるのが魅力です。

特定施設入居者生活介護 （有料老人ホーム、軽費老人ホームなど）

有料老人ホームは民間事業者が運営する居住型施設。日常生活を中心とした介護サービスを提供します。運営する事業者によって、その特徴は様々。

介護老人保健施設 （老健）

利用者様の自立と自宅での生活復帰を目指すための施設。医療ケアやリハビリテーションを中心とした介護サービスを提供します。
利用者様の回復に特化したサービスが特徴です。

介護療養型医療施設

医療ケアを必要としている利用者様が長期的に入居をする施設です。病院に併設されていることも多く、医師や看護師との連携も多いのが特徴です。介護の知識だけでなく、医療の知識も身につきます。

※上記例は介護サービスの一部です



HELPMAN JAPAN は、一歩踏み出すあなたを、応援します！

～ HELPMAN JAPAN 介護業界で働くには？ カンタン解説編～

介護の仕事の探し方

介護業界に興味を持ったら、このページの情報を参考に、まず一歩踏み出してみよう。

学生 の方へ

まずは学校の就職課、先生に相談してみましよう！最近では新卒学生向けの就職支援サイトにも、多くの介護事業者の求人が掲載されています。自分でも探してみましよう。

社会人 の方へ

まずはハローワークや転職支援サイトなど、複数の求人サイトで求人を探してみましよう！未経験でも応募可能な求人がたくさんあります。（応募要件をよく見ることを忘れずに）

ワンポイントアドバイス

1

施設見学は必ず行いましょう！

お願いをすれば、実際に働く現場を見せてもらえる法人がほとんどです。
ぜひ自分の目で見て、聞いて、将来働くことになる職場を見極めましよう。

2

複数の法人を比べてみまよう！

法人によって介護方針や提供するサービス、働く環境も様々です。
複数の法人を見て、比較検討することで、自分の働き方に合った法人を見つけましよう。

3

自分の「将来」をイメージしまよう！

5年後、10年後に自分がどうなりたいかをイメージして、自分が実現したい働き方、将来像が描けるか、イメージできるかどうかを入社前に必ず確認しましよう。

研修事業

HELPMAN JAPAN は介護職員がイキイキと活躍するために
介護業界の各階層別に合わせた定着支援プログラムを開発しています



介護業界で働く方たちが介護業界の同期と意見交換することで
業界の底上げを狙う研修を提供しています。介護業界初心者の方からベテランの方まで、より意欲高く働けるよう HELPMAN JAPAN は尽力しています。

詳しくはこちら <https://helpmanjapan.com/lp/biz/?aboutus>



HELPMAN JAPAN

一人でも多くの人が介護業界でイキイキと働くことができる
それが HELPMAN JAPAN が実現したい世界です



これからの介護をつくる人たち



© 朝日新聞出版 くさか里樹

現場の雰囲気も、面接対策も教えてくれる。
介護業界特化型転職支援サービス

採用支援事業



HELPMAN JAPAN は、介護業界初心者の方からベテランの方まで、介護の現場で働く方たちがよりキャリアアップを目指す職場・より自分に合った職場を見つけられるよう、採用支援事業を通じて介護の現場で働く方たちを応援しています。

詳しくはこちら
<https://job.helpmanjapan.com/lp2/>



スマホではじめる 介護福祉士 試験対策

ケアトレ



介護業界で働く方たちが、働きながら無理なく資格取得できるよう、過去問から予想問題まで、詳しい解説付きで無料でご提供しています。
HELPMAN JAPAN は、介護の現場で働く方たちの資格取得を応援しています。

詳しくはこちら
<https://caretore.com/>



自分らしく、ともに生きる プロとして。

だれしものが、かけがえのないひとりひとり、ということ。
ひとりではできないことも、あなたとならできる、ということ。

そんなシンプルなことを実現するために、
寄り添い、耳を傾け語りかけ、生活をともに歩むプロがいる。

「高齢者」になるとできることは減って、
できないことは仕方なく誰かにやらしてもらわなければならない。
そんな思い込みを、創造的に超えていくプロがいる。

今から約 40 年後の 2060 年。
日本は 2.5 人に 1 人が「高齢者」になる。

そのとき、あなたやわたしが生きている社会が、
自分らしく、ともに生きていける社会であるために。

自分自身も幸せに年を重ねていける社会を、
わたしたちと一緒に創りませんか？

HELPMAN JAPAN

介護業界で働く人・働きたい人、興味がある人向けの情報サイト「HELPMAN JAPAN（ヘルプマンジャパン）」は、超高齢社会日本で、多くの人が介護業界に興味を持ちたくなるような、介護の最新情報を発信中！！

HELPMAN JAPAN

オフィシャルサイト
OFFICIAL SITE

介護に関わる
皆さまを
応援!!!

最新トレンド

介護業界は成長著しい業界で、日に日に進歩しています。その中でも注目すべき事例を取材し、情報を発信します。

ヘルプマン

いま、介護の現場ではどのようなことが起こっているのか。現場で働く方へのインタビューを通じて、介護の現実と、彼らの描く理想の姿を公開します。

介護の現場から

介護をする人・される人の間に生まれる強い絆。
人と人がホンネで向き合い、お互いを理解し合うことができれば、そこには強い絆が生まれます。

介護業界人事部から

全国の介護事業者の人材にまつわるさまざまな事例を独自取材！介護業界の人事の皆さまにとって役に立つ記事の発信を目指していきます。



「絆」 × 「笑顔」 表紙

小川 テルさん

社会福祉法人常盤会
特別養護老人ホーム ときわ園
（ご利用者）

畠山 トキ子さん

社会福祉法人常盤会
特別養護老人ホーム ときわ園
（職員）

小川さんはお出かけが大好き。お出かけをいつも楽しみにしている。職員の畠山さんは、小川さんにもっと元気になってもらいたいと、小川さんの地元を車で回る地元凱旋ツアーを企画した。当日「あ！ここは普通小学校！神社もある！」と楽しそうな小川さん。ツアーですます元気になった小川さんは、お昼ご飯を完食。畠山さんも一安心だ。やっぱり小川さんはお出かけが好きなんだと思った畠山さん。いまではよく施設の周りを一緒にお散歩されているそう。今日はときわ園自慢の庭園でお散歩だ。

HELPMAN JAPAN

これからの介護をつくる人たち。

2018年3月発行

STAFF

発行人
編集人

小林 大三
坂田 祐一 繁内 優志

ライター

上野 真理子 澤幡 洋一 高橋 光二 高橋 美保子 高村 多見子
松本 玲子 宮下 公美子
刑部 友康 川谷 信太郎 阪巻 正志 四宮 義博
中島 ゆう子 平山 諭 藤井 洋平

フォトグラファー

デザイン

株式会社タガタメ

印刷

株式会社ノスメディア

発行

株式会社リクルート
〒100-6640
東京都千代田区丸の内 1-9-2 グラントウキョウサウスタワー

ヘルプマンジャパン

helpmanjapan.com

検索



© 株式会社リクルート
本誌記載の記事・写真の無断転載・複製を禁じます。
本誌掲載の内容は、特に記載のない場合、2018年1月末日時点のものです。以降変更されることもありますのでご了承ください。

HELPMAN JAPAN

これからの介護をつくる人たち。

